

要約書

認証者は、被認証者から前述の3つの情報を受信し、今回の認証データを基に一方方向性関数を用いて算出した正当性確認パラメータと前回の認証フェーズにおいて登録した認証パラメータと比較し、一致したら今回の認証が成立したと判断し、次回の認証データを次回の認証パラメータとして登録する。

認証者は、被認証者から前述の3つの情報を受信し、今回の認証データを基に一方方向性関数を用いて算出した正当性確認パラメータと前回の認証フェーズにおいて登録した認証パラメータと比較し、一致したら今回の認証が成立したと判断し、次回の認証データを次回の認証パラメータとして登録する。